

こころ育てる絵本との出会い

# マがちゃん通信

2011 10 - 11 vol.

10

絵本原画展

なかやみわ

特集

読み聞かせ





# なかやみわ



そらまめくん、くろくん、ばすくん：  
 数々の愛されキャラクターを描くなかやさんの  
 新キャラクター・どんぐりむらのなかまたち。  
 優しく、あったかく、人情味あふれる世界を  
 すみずみまでゆつくりお楽しみください。

## なかやみわプロフィール

埼玉県出身・東京都在住。女子美術短期大学造形科グラフィックデザイン教室卒業。企業のデザイナーを経て、絵本作家になる。主な絵本に「そらまめくん」シリーズ（福音館書店・小学館）、「くれよんのくろくん」シリーズ（第12回けんぶち絵本の里大賞受賞・童心社）、「こぐまのくうびい」シリーズ（ミキハウス）、「どんぐりむら」シリーズ（学研）など、他にも人気作多数。可愛いキャラクターたちが大活躍する心温まる作品は、子どもたちやお母さんたちに高い支持を得ている。女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科准教授。

## 絵本原画展開催

10月1日(土)～11月29日(火)



『どんぐりむらのぼうしやさん』(学研)

原画展示絵本

※表紙「どんぐりむらのばんやさん」(学研)より



この秋のギャラリーでは、  
人気シリーズから『どんぐりむらのぼっしやさん』  
新刊『どんぐりむらのばんやさん』の絵本原画をご紹介します。

## なかやみわ先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

もともとは、キャラクターデザイナーを目指して、デザイン会社の会社に入ったのですが、そこで、キャラクターの寿命の短さを肌で感じました。そんな時、たとえば『ぞうのババー』とか『おさるのジョージ』とか…何十年も長く愛されている絵本のキャラクターがいることに気づき、「絵本の仕事をやりたいな」と思いました。

画材は何を使っていらつしやいますか？

その作品を表現するのに一番適した画材を選んで使っています。たとえば、「どんぐりむら」シリーズは、秋の深まった色合い、やわらかさを表現したいのと、細かくディテールを描けるものということで、色鉛筆、カラーインクがメイン、差し色でパステルも使っています。

今回絵本原画展を行う絵本の制作秘話や  
思い出を教えてください。

『どんぐりむらのぼっしやさん』は、シリーズ誕生の作品です。実は、何年も前から「どんぐり」で何か描きたいな、という思いがありました。子どもたちはどんぐりが大好きですし、身近なモチーフですし。どんぐりって非常に種類が多く、特徴もいろいろあります。



『そらまめくんのベッド』  
(福音館書店1999年)

無意識に描いていたどんぐりのイラストが、みな仕事をしていたので、仕事、プロフェッショナルをテーマにしようと思いました。『どんぐりむらのばんやさん』は、「バン屋さん」が子どもたちに人気がある」と、版元からのリクエストもあって(笑)、バン屋さんを取材に行きました。祖父から父、その息子さんと三代続く地元密着型のバン屋さんで、若いご夫婦がきりもりしておられました。すこく、イメージがふくらんで、お話が生まれましました。実は、キャラクターのお顔も似ているのです。モデルにさせていただきました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本を教えてください。

それは、やはりデビュー作『そらまめくんのベッド』です。私が絵本作家になりたいと思っただけで描いた1冊、作家としての初めての作品なので、採用されたときの喜び、絵本になったときの感動は、人一倍でした。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？  
「どんぐりむら」シリーズに限って言えば、お仕事の大切さです。読者の子どもたちが、いつか何らかの職業につくとき、お金を得るだけでなく生きがいにつながるような、仕事に對してよいイメージを持ってもらいたいという思いで描いています。

私の絵本全体として伝えたいことは、友達関係です。お友達とうまく関われなかった子が、絵本を通じて、友達のことを考えられるようになるとか、人の気持ちがわかるようになるとか、そして常識ある大人になつてくれたらなと願っています。絵本でさりげなく伝えたいです。

今後どのような絵本を描いていかれますか？  
我が家で数年前から飼っているモルモットのもるちゃんを主人公にした絵本を作りたいなと思っっています。もるちゃんが生きているうちに(笑)。

ご趣味についてお聞かせください。  
雑貨屋さんめぐりです。あとは、もるちゃんとのふれあいの時間です。

ファンの方へメッセージをお願いします。  
これからも心に響くような、読んでよかった、買ってよかったと、心から楽しんでもらえるような絵本を描いていく努力をしていますので、楽しみに待っていてください。

なかやみわ先生、ありがとうございました。



『どんぐりむらのばんやさん』(学研)

## なかやみわ先生 サイン入りの絵本を 3名様にプレゼント

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記の  
うえ、ハガキでご応募ください。  
あて先 〒939-0283  
射水市鳥取50 射水市大島絵本館  
なかやみわサイン本プレゼント係  
締め切り 平成23年11月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



『どんぐりむらのばんやさん』(学研)



# 特集 / 読み聞かせ



毛利佑介  
射水市大島絵本館 指導員

## 読み聞かせて学んだことを振り返る

私が大島絵本館に勤めて一年が経ちました。絵本の読み聞かせはまだまだ勉強中ですが、その楽しさを知るきっかけになった冊の絵本があります。それは大島小学校の読み聞かせの時間に読んだ『じごくのそうべえ』です。私がこの絵本を選んだ理由は、昨年当館で開催されたイベント「いのちの絵本」の中で、女優の剣幸さんが朗読する姿がとても印象的だったからです。関西弁の文章を軽快なテンポで読み上げる朗読を聞いて、どんなお話の世界にひきこまれていきました。

いざ自分がやり始めてみると、作中に出てくるおならやくしゃみといった擬音の数々に緊張がほぐれ、思いきり読む事ができました。そして、徐々に聞こえてくる子どもたちの笑い声が、もっと楽しく、もっとおもしろく読みたいという私の気持ちを高めてくれました。それは私にとって、初めて人前で何かを披露して笑ってもらえた瞬間でした。

私はこの経験があったから読み手としての一歩を前進できたのだと思います。私が読み聞かせを始めた頃は、どんな絵本を選べばよいかという事ばかりにとらわれたり、聞き手が退屈しているのではないかという不安を抱きながら読んでい

たりと、考えすぎて、余計な緊張をしていました。しかし楽しんでもらうにはどんな読み方があるのかを考えられるようになってからは、聞き手の心の動きにあわせて工夫する余裕が少しずつ生まれてきました。同じ絵本でも歌うようにリズムをつけて読んだり、クイズ風にして挑戦してみたり。一冊の絵本を幾通りにもアレンジするおもしろさを知る事もできました。

そして私が何より大事だと気付いた事は「コミュニケーションをとりながら」という事です。いろいろな方の読み聞かせを聞いていると、絵本の文章を読み手と聞き手が一緒に読んだり、しりとりみたいに交互に読み上げたりと、読み聞かせならではのコミュニケーションのとり方があるのだと知る事ができました。書いてある文章をそのまま読むだけのやり方しか知らなかった私にとって、まだまだ知らない読み聞かせの楽しみ方があるのだと痛感しました。

人を楽しませ、心に残る読み聞かせができるように、実践の中で学んだ事や失敗したことを基にさらに前進できるように努めていきたいものです。

## 私のおすすめ絵本

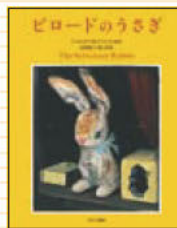
『わたしはとべる』



ルース・クラウス / 作  
マリー・ブレア / 絵  
谷川俊太郎 / 訳  
講談社

子ども部屋に迷いこんだような世界と、無邪気さが魅力の絵本です。生き生きとした色使いの絵は大人の方でも楽しめると思います。

『ピロードのうさぎ』



マージェリー・W・ピアンコ / 作  
酒井駒子 / 訳・絵  
プロンズ新社

私が朗読をして初めて泣いた絵本です。思わず自分が幼かった頃に、いつも大事に持ち歩いていたクマのぬいぐるみの事を思い出しました。

『じごくのそうべえ』



田島征彦 / 作・絵  
童心社

地獄は怖いところというイメージが笑いで吹き飛んでしまうお話。親しみが持てる関西弁の文章や、罰を与えるはずの鬼たちがやりこめられる様がおもしろい絵本です。



『ノンタン おばけむらめいろ』  
キヨノ サチコ / 作・絵  
偕成社  
寝によく読んでほしいとせがまれる絵本です。



『長ぐつをはいたねこ』  
佐々木マキ / 絵 出口裕弘 訳  
三起商行  
人間よりも生きる知恵を持った猫。私のところにも来てほしいです。



『おふろだいすき』  
松岡享子 / 作 林明子 / 絵  
福音館書店  
大人になっても、入ってみたいお風呂です。



『あっぶつぶ』  
くすはら順子 / 製作  
ひさかたチャイルド  
にらめっこでおもしろい顔できるかな？